

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成24年1月(2012年) No.553

新年のごあいさつ

今年こそ明るい良い年でありますように

会長 合原一夫

明けましておめでとうございます。昨年は3.11の東北大震災や福島原発事故、和歌山の豪雨による土砂災害など大きな災害が多発しました。また政治の世界では民主党政権が大混迷し、将来の明るさが見えてきません。

経済面でも円高に伴う企業の海外流失で職の無い若者が増えています。

一方、わが大阪ムービーサークルも高齢化が進み、例会出席率も前年度の1例会あたり26.5人だったのが、平成23年度はやや下って23.5人となりました。一例会あたり3人の減少です。このままでは毎年少しづつ出席者が減っていくのではないかと危惧します。若い人がどうしたら入って頂けるのか今年の課題でもあります。

作品出品数は一例会あたり13.8本となり、1年前の13.2本に比べほとんど変わらぬ健闘を見せております。9月例会から関世話役のご尽力によりテープ式以外のブルーレイやSDカード方式も例会で上映できる環境がととのい、そうした作品が見られるようになりました。従来型の4対3映像は一例会あたり1.2本とほとんど姿を消してしまいました。

この様に考えますと、作品を作っておられる会員諸氏は、積極的に新しい方式にも取り組み、元気で頑張っていることの証しの様に思えます。元気を保つ意味からも今年も映像を通じて、人生を明るく前向きに生きていこうではではありませんか。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

1月例会と総会及び新年会のお知らせ

1月例会は通常と異なり第3日曜日15日午後1時よりとなりますのでお間違いの無いようご注意ください。場所はいつもの通りJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。例会作品上映後休憩をばさんで総会を行います。年度賞は総会にて発表されます。新年会は17時頃より5階のレストランで行います。

昨年の例会記録

例会を盛会にして楽しく運営していくためには、まずは会員さんの出席が多くなければなりません。昨年は一回も欠かさずに出席して頂いた方が7名、1回だけご欠席の11回出席の方が6名、計13名おられ会の盛り立ての中心になっていただきました。しかし前年の16名に比べ1例会当たり3名減りました。比率にして凡そ18%ほどの減となります。

例会に毎回出席するということは、まず健康であること、次は例会日を大事にして他の用事に優先してスケジュールを組むということであり、これらを実行されている最多出席者の方々には敬服しております。

次は作品出品数ですが、毎月出品された方が3名、1回だけ無しで11本を出された方が1名の計4名おられました。前年度の5名、前々年度の7名に比べますと減少気味ではありますが、毎月のように新作を作ってこられるというそのご努力と熱意に敬意を表します。

◆全例会出席者：有村、井上、江村、進藤、関、華岡、森下の7氏。

◆11回出席者：岡本、紙本、合原、前田、宮井、吉岡の6氏。

◆全例会出品者（12作品）：有村、江村、前田の3氏。

◆11作品出品者：進藤氏。

◆10作品出品者：高瀬、山本の2氏。

◆この5年間の例会記録

年度	会員	1例会あたり		年間
		出席数	作品数	作品数
19	38	28.6	15.0	197
20	40	26.5	16.4	207
21	40	28.1	15.6	197
22	40	26.5	13.2	169
23	39	23.8	13.8	172

注) 年間作品数には撮影会作品を含む。

但し、1例会あたり平均値には含めず。出席者は減少気味ですが、作品数はむしろ前年度より増え、作品を作っておられる方の元気が伺えます。

◆録画方式の推移（百分率）

年度	DV	W	HDV	BD	カード*
19	15.2	14.2	70.6	—	—
20	12.1	11.1	76.8	—	—
21	3.7	11.8	84.5	—	—
22	7.1	8.9	84.0	—	—
23	8.5	1.8	81.2	6.7	1.8

注) BD（ブルーレイ）にはDVDも含む
この5年間ですっかりハイビジョン化が進み、しかも23年度後半からブルーレイやSDカード方式が新しく登場してまいりました。今年からますますこうした新しい方式が増えると思います。一つにはビデオカメラの発売がテープ方式からカード方式に変わったことがあり、カード方式のカメラに変更された方が増えてきたことが挙げられます。ですが小数ながら4対3映像もしぶとく生き残っていることがデータからも示されています。

12月例会レポート

12月も押し詰まった24日、今年最後の例会を開催しました。24日の夜といえばクリスマスイブの日、会員諸氏はこうしたイブには縁の無い方が多いのか、いつもより多い会員さん25名と見学者1名の26名と作品数13本で盛会となりました。フェスティバル出品候補作が出るなど内容も充実した例会となりました。司会是有村氏、書記、合原氏、上映担当、井上、河合、江村の3氏。受付兼照明係、紙本、宮井の各世話役の担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、西村、華岡、前田、宮井、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡、渡辺の25氏のほか見学者1名の26名（敬称略）

◆作品上映（今月の講評は合原会長です）

1. キマロキの思い出（HDV）

前田 茂夫さん 9分38秒

当初 AVCHD のカード方式を持参され上映しようとしたのですが、デッキ操作がうまくいかず同時に持参されていた HDV のテープ方式で上映しました。

キマロキというのは国鉄全盛時代に活躍した除雪車のことだそうです。作者は尼崎

の貸レイアウトで模型を走らせ、自ら操作して楽しんでおられます。除雪車にもいろいろの役割を果たす車両があることをくわしく説明され判り易く理解できます。最後に8ミリ時代に撮った本物のキマロキが動くダイナミックな画面が出てきましたが、やはり本物は迫力が違いますね。鉄チャンぶりを存分に発揮した作品でした。

2. ウィンターイルミネーション (HDV)

宮崎 紀代子 4分21秒

なばなの里、というサブタイトルがついていました。なばなの里は花一杯の大きな観光農園で、ほかの方の作品で花畑の様子を紹介した映像を拝見した覚えがありますが、冬の季節には華やかな光の世界が演出されています。光のトンネル、富士山と海を表現したイルミネーションなど観光としての見せ場があるようです。こうした雰囲気はよく描かれています、BGMが少し暗いというかおとなし過ぎるというか、もっと光のショーを盛り上げるBGMが欲しいなあと思いました。

3. 室生古道をゆく (HDV)

森口 吉正さん 8分50秒

奈良県宇陀市に行く伊勢本街道、かつて多くの方が伊勢参りに通った道。今回作者はそこを歩いて取材して来られました。

車では通れない古道だそうで、かつては十数本の杉がくっついて巨木になった杉の大木など珍しいものが紹介されます。室生の里までの散策で田園風景、山里の雰囲気など充分見せて頂き心がなごみました。作者の後姿。去り行くカットなどがありますが、1カット位、坂を登ってくる作者の姿も欲しかったと思います。しかし、しっかりとした良い出来映えの作品でした。

4. ユダヤ人強制収容所 (HDV)

山本 正夢 6分30秒

ミュンヘン北部のダッハウ収容所、ハンブルグのノイエンガンメ収容所、ベルリンの北部のザクセンハウゼン収容所と、ドイツに残る三つのかつてのナチス時代の強制収容所が生なましく紹介されます。ポーランドあたりに残る収容所とは少し様子が違うように思いましたが、いずれにしても戦時中のおろかな人間の業が感じとられる暗

い印象が残ります。ドイツが敢えて過去の負の遺産を残し、かつ公開し教育の一環としていることは、再び戦争を起こすなどといういましめなのでしょう。

5. ためらい (HDV)

宮井 健さん 4分00秒

お知り合いの女性でしょうか、北原ミレイという歌手の歌った曲に合わせて、海辺の風景などをバックに女性が出演されている歌謡映画。うまく雰囲気を作っておられます。途中1カット、女性がマイクを持って歌っているシーンが挿入されており、しかも歌と口の動きが一致していたので、出演者が歌っているのかと一瞬思ってしまった。そうなれば、トップシーンとラストシーンだけ本人の歌う姿を入れオーバーラップで風景と人物を入れてもよかったのではないかと思いました。しかし、素敵な歌でした。

6. 軍師黒田官兵衛孝高 (HDV)

紙本 勝 15分00秒

よくもまあ調べられたものと、まずは感服の至りです。何でも大阪城や姫路城のような立派な石垣や天守閣のある平城から、けわしい山道を登っても土塁だけしか残っていない山城など、現在までに160箇所あまり撮影、これを作品にと取り組まれたのがまずは黒田官兵衛だったというわけです。作品の出来はともかく、このご努力、ご熱心さには敬服いたします。但し、素材や脇道が多過ぎて作品の理解に追いついていけません。もう少し主人公の人となりやエピソードに絞って単純化された方が判り良いと思いますが、どう山場をつくるか、ラストを盛り上げるか昔の話だけに難しい課題ですね。

7. 名もない絆 (HDV)

高瀬 辰雄さん 11分10秒

トップタイトルに「わらべ地蔵を被災地に」と出て次に長い解説文が続きます。(これは京都の仏師の方が東日本大震災で亡くなられた方、特に幼い子供たちの供養として一千躰の「わらべ地蔵」を彫って現地に届け、安らぎと悲しみを和らぐ事を願うのである)とあります。インタビューのあと木彫りの小さな仏像を作るグループを描い

たドキュメンタリー作品となっています。木彫は高さ 15 センチ位の小さなもので1日の指導で完成したとのこと。決して立派な出来ではありませんが、千体も集まるとそれは大きな力になることでしょう。彫っている途中で突然 BGM が東日本大震災復興応援ソング「名もなき絆」が流れてきましたが、何か場違いの感じがしました。むしろトップの方に入れて、これだから何かしてあげたいと千体仏を思い立った、という関連づけて話を進めた方がよかったですのではないか、と思いました。平成 24 年 3 月 11 日には仙台の松島瑞厳寺で開眼供養があるそうですが、それも取材されてこの作品と関連づけてもう一本新作を作られたらいいですね。

8. パルケエスパーニャ・カーニバル (BD) 有村 博 8分25秒

三重県の志摩スペイン村で撮られたもので、スペインのお祭りや文化をテーマにしたパレードで7台のフロートと周りに踊り子たちがリズムカルな音楽に合わせて踊っています。実際には 40 分も続くそうです。

最後の方に高校生らの一般観客も輪に入って楽しげに踊っていました。大変お金もかけたパレードですがウィークデーとは言え、観客が少ないのには驚きです。華やかさの陰に赤字経営に苦しむ会社の苦悩が判るような気がしました。どうかつづれない様に頑張ってください。

9. YOSAKOI 2010 (HDV) 江村 一郎 7分00秒

あちこち撮ったものも含めて、これでもさこいシリーズは 40 作目ぐらいになる、とは作者の弁。やはり故郷だけに毎年この祭りの頃になると血が騒ぐのでしょうかね。

映像センスはさすがのもので撮影、編集ともこの種の作品では江村さんの右に出る者はいないと云ってよいでしょう。脱帽のほかありませんが、気になるのは現録の音がブツブツ切れてしまい連続して聞けないという音の編集問題。2~3 曲に絞ってグループは変わっても良いから、じっくり現場に流れる音楽のリズムを堪能した作品も拝見したいものです。

10. 重蔵神社大祭 (HDV)

河合 源七郎さん 7分57秒

輪島市の四大祭の一つで「ちゅうぞう」と呼ぶ神社のキリコ祭だそうです。大きな祭りなのでテレビ局も取材に来たり、縄を張って見学者が中に入れないようにしたりち撮影に制約があり、特に近くでのアップのカットが撮れなかったと作者は言っていました。祭りは大きければ大きいほど作品の纏め方が難しいもので、この作品もよく撮影されていますが、ラストの盛り上がりもなく、途中でエンドマークがでたような印象を受けました。ご苦労様でした。

11. 秋郷祭・枚岡神社 (BD)

進藤 信男さん 8分10秒

”ふるさとのまつり「秋郷祭」河内国一ノ宮・枚岡神社”という長いサブタイトルのついたタイトル画面が出てきて枚岡神社の鳥居や桜の花等の後、枚岡神社の由来の説明があり、いよいよ秋祭りが始まります。

かなり大きな祭りで、御輿やふとん太鼓がねり歩きます。神社は山の中腹にあり下からかつぎ上げるのがきつようですが、その辺りのみなの頑張り様を強調したらよかったですのではないかと、いう意見がでました。しかしなかなかの努力作で、東大阪市にもこんな大祭があることを示す作品でした。

12. 皆既月食撮影顛末記 (SDカード)

井上 勝彦さん 6分12秒

2011 年 12 月 10 日皆既月食のあった夜、寒い夜空に超望遠レンズを向けて月を撮影されています。日食と違って月食は露出や位置関係の修正に何かと難しいとのこと、高度な編集技術も相俟って月食の様子がよく表現されていました。寒空にカメラと共に月に向き合う作者の姿が思い浮かびます。

13. 秋風そよぐ花の丘 (BD)

吉岡 貞夫さん 5分10秒

青空を背景に太陽の塔、遊覧車が走っています。画面は一転花の丘へ。ここには 30 万本というコスモスの花が咲き乱れています。晴天で花の色どりも美しく、スケッチする人、写真撮る人等それぞれ楽しんでる様子が描かれていました。肩の凝らないさわやかな印象の作品でした。